

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

平成 29 年 7 月 20 日

独立行政法人水資源機構

一庫ダム管理所長 向居 忠昭

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、一庫ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における平成 28・29 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出してください。

なお、参考見積書の様式は別紙「参考見積書 様式」を参考に作成してください。

- (2) 提出期間 平成 29 年 7 月 28 日（金）から平成 29 年 8 月 4 日（金）まで。
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9 時から 17 時まで。

- (3) 提出先

独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所長 向居 忠昭 宛

【担当】 本田 真章 （審査係）

〒 6 6 6 - 0 1 5 3 兵庫県川西市一庫字唐松 4 - 1

独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所

TEL : 0 7 2 - 7 9 4 - 6 6 7 1 FAX : 0 7 2 - 7 9 4 - 0 5 9 0

(4) 提出方法

書面は持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件及び業務作業項目、作業内容

別紙「見積仕様書」のとおりとします。

(2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、別紙「見積仕様書」の業務内容を実施するために必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「平成29年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：平成29年7月21日（金）から平成29年7月27日（木）まで。

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から17時まで。

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：平成29年7月28日（金）から平成29年8月4日（金）まで。

(2) 閲覧方法：一庫ダム管理所ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

見積仕様書

今回依頼する見積内容は次のとおりです。

1. 業務目的

本業務は、一庫ダム貯水池における堆砂状況を経年的に把握するため、河川横断測量及び深淺測量を行うものである。

2. 業務予定工期

平成 29 年 10 月～平成 30 年 1 月

3. 業務内容

3-1 作業計画（見積対象外）

作業全体における計画立案を行い、契約締結後速やかに業務計画書を作成し、監督員に提出するものとする。

なお、業務の実施にあたっては、監督員と十分連絡をとるものとする。

3-2 現地踏査（見積対象外）

1. 受注者は、測量作業計画の策定にあたり、各河川横断測量実施地点及び深淺測量実施範囲の現地踏査を行うものとする。深淺測量で使用する GPS 基準局の観測範囲が作業地区をカバーするよう、作業地区からの見通しを確認するものとする。また、距離標杭、過年度の既設基準点等の確認も実施するものとする。
2. GPS 基準局として適切な既設基準点がない場合は、監督員に報告し、対策等について監督員と協議を行うものとする。基準点を新設する必要がある場合は、設置箇所や方法等について立案し、監督員の承諾を得ることとする。

3-3 河川横断測量（見積対象外）

1. 河川横断測量は、別紙位置図に示す測線において、水深 1m 未満及び陸上部を測量するものとする。
2. 測量は左右岸の距離標杭間について標高と距離を測量するものとする。
なお、測点間隔は 5m ピッチを原則とするが、測点間内の変化点は押さえるものとする。
3. 本年度及び前年度等の測量結果を基に横断面図を作成するものとする。
4. 測量結果の点検整理を行うものとする。

3-4 深淺測量（見積対象）

1. 深淺測量は、別紙位置図に示す範囲において、水深 1m 以上の水中部の地盤高（水深）をナローマルチビーム計測により行うものとする。
2. 測量はマルチビーム測深機（GNSS 測位、POS/MV（慣性航法 GPS）、測深ソナー 256 本×0.5° ビームと同等又は同等以上）を用いるものとする。
3. 測量結果の点検整理を行うものとする。

3-5 測量結果等整理（見積対象）

受注者は、深淺測量の結果から別紙位置図に示す測線における成果を整理するものと

する。

なお、河川横断測量の結果も統合して整理するものとする。

3-6 横断面図作成（縦断面図を含む）（見積対象）

1. 本年度及び前年度等の測量結果を基に縦断面図及び横断面図を作成する。作成にあたっては、「ダムの堆砂状況調査要領（案）（平成17年6月29日 国土交通省河川局）」に準拠して作成するものとする。

なお、河川横断測量の結果も統合して整理するものとする。

2. 河川横断測量結果等との整合性について、監督員と十分協議を行うこと。

3-7 堆砂量計算（見積対象）

堆砂量計算は、次の要領に基づき平面スライス法及び平均断面法により行う。

1. 平面スライス法においては、原則として1mスライスで堆砂量を算出する。
2. 平均断面法においては、別紙位置図に示す測量実施測線の断面積から堆砂量を算出する。
3. 本業務及び既往調査結果を基に次の標高に分けて算出する。
 - ① EL. 152.0m以上（洪水時最高水位以上）
 - ② EL. 149.0m～EL. 152.0m（非洪水期洪水調節容量内）
 - ③ EL. 135.3m～EL. 149.0m（洪水期洪水調節容量内から上記②を除く）
 - ④ EL. 108.0m～EL. 135.3m（洪水期利水容量内）
 - ⑤ EL. 108.0m以下（堆砂容量内）
4. 平均断面法で算定する区間ごとに平面スライス法により堆砂量を算定し、平均断面法による堆砂量と比較するものとする。

3-8 背水計算（見積対象）

本年度の測量結果を基に、一庫大路次川及び田尻川、黒川について背水計算を行う。

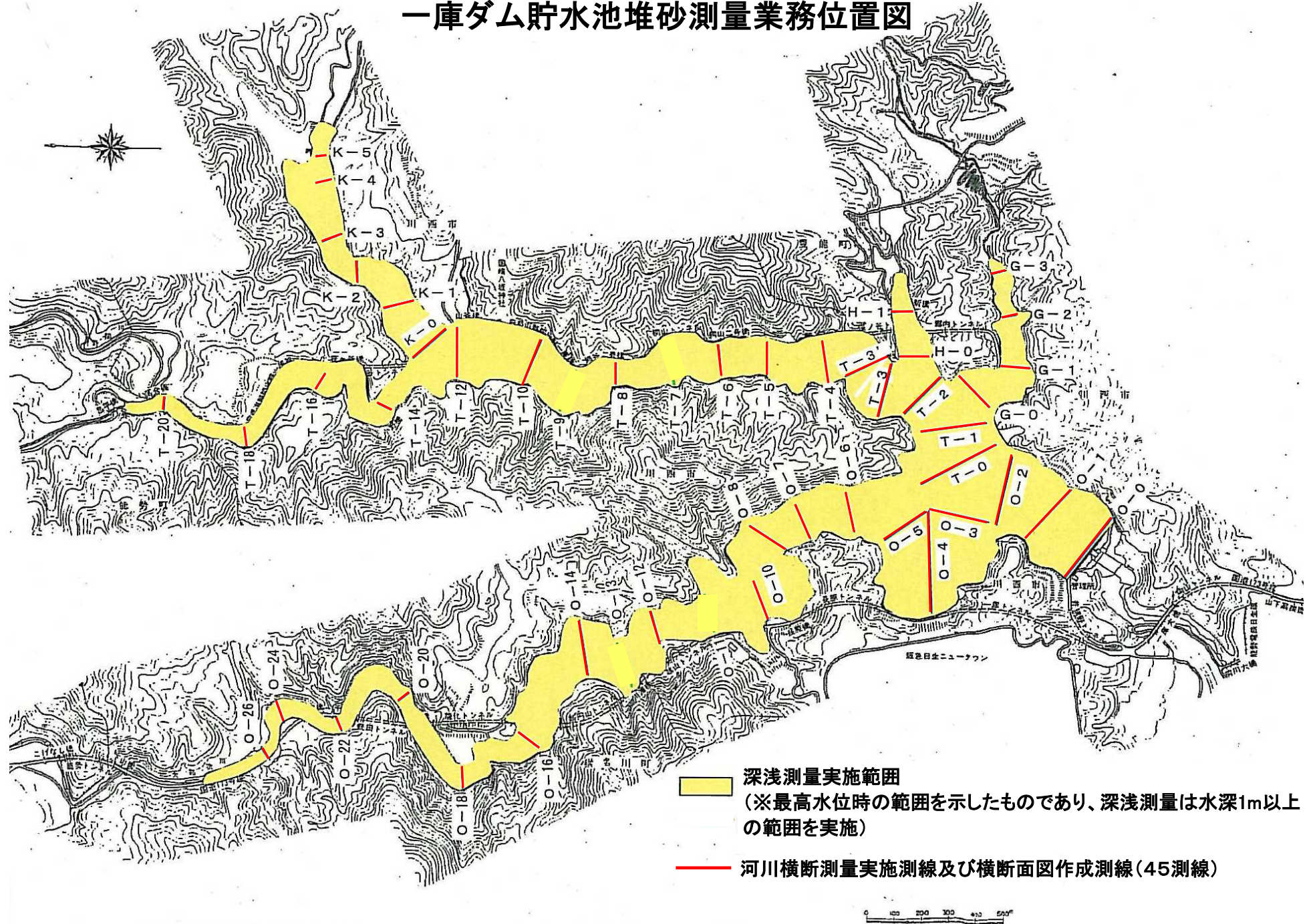
計算方法は不等流計算（標準逐次計算法）による。



計算条件は下表のとおりとする。

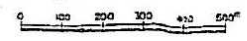
| 対象河川 | 測線数 | 測点 (別添位置図) | 流量 (m ³ /s) | 始点水位 (EL.m) | エネルギー 補正係数 | 粗度係数 (N) |
|--------|-----|---------------|---------------------------|----------------------|---------------|-------------|
| 一庫大路次川 | 18 | O-No.0～2 | 1620 | 152.00 (サーチャージ水位) | 1.0000 | 0.055 |
| | | O-No.3～26 | 1070 | | | |
| 田尻川 | 15 | T-No.0～12 | 550 | O-No.2水位 | | |
| | | T-No.14～20 | 480 | | | |
| 黒川 | 6 | K-No.0～5 | 70 | T-No.12水位 | | |

以 上

一庫ダム貯水池堆砂測量業務位置図



-  深淺測量実施範囲
(※最高水位時の範囲を示したものであり、深淺測量は水深1m以上の範囲を実施)
-  河川横断測量実施測線及び横断面図作成測線(45測線)



参考見積書（様式）

業務名：一庫ダム貯水池堆砂測量業務(仮称)

| 工 種 ・ 種 別 | | 規 格 | 単 位 | 数 量 | 機 械 経 費 率 (%) | 材 料 費 率 (%) | 備 考 | |
|--------------------|------------------|------------------|--------|-----|--------------------|------------------|-----------------------|---------|
| 深浅測量 | ダム・貯水池深浅測量 | 測量主任技師 | 人 | | | | 1km ² 当たり | |
| | | 測量技師 | 人 | | | | | |
| | | 測量技師補 | 人 | | | | | |
| | | 測量助手 | 人 | | | | | |
| | | 普通船員 | 人 | | | | | |
| 測量結果等整理 | 測量結果等整理 | 測量主任技師 | 人 | | | | 10測線当たり 測線幅150m当たり | |
| | | 測量技師 | 人 | | | | | |
| | | 測量技師補 | 人 | | | | | |
| 横断面図作成 (縦断図を含む) | 横断面図作成 | 測量主任技師 | 人 | | | | 10測線当たり 測線幅150m当たり | |
| | | 測量技師 | 人 | | | | | |
| | | 測量技師補 | 人 | | | | | |
| 堆砂量計算 | 堆砂量計算 (スライス法) | 測量主任技師 | 人 | | | | 1km ² 当たり | |
| | | 測量技師 | 人 | | | | | |
| | | 測量技師補 | 人 | | | | | |
| | 堆砂量計算 (平均断面法) | 堆砂量計算 (平均断面法) | 測量主任技師 | 人 | | | | 10測線当たり |
| | | | 測量技師 | 人 | | | | |
| | | | 測量技師補 | 人 | | | | |
| 背水計算 (不等流計算) | 背水計算 | 測量主任技師 | 人 | | | | 10測線当たり | |
| | | 測量技師 | 人 | | | | | |
| | | 測量技師補 | 人 | | | | | |

※機械経費率及び材料費率は、直接人件費(労務費である普通船員を除く)に対する割合